

②学校関係者評価

領域	短期経営目標	具体的方策	学校関係者評価	学校関係者評価を踏まえた次年度の方策等	
健やかな心と体の育成	・心の教育の推進	・基本的な生活習慣「春日小のやくそく」を確立させる。 ・「特別な教科 道徳」の授業を充実させる。	・大部分の子どもたちには、達成できているように思います。 ・私が挨拶すると驚いた顔をする子もいるので、逆に驚きます。お友達同士で挨拶する場面をあまり見ることがないので、気になりました。 ・コロナのせいか、朝の旗振りで元気にあいさつする子が減ってきた気がします。 ・素晴らしい取組だと思います。先生方の自己評価も高く、ぜひ継続して頂きたいと思います。	人の近くで、大きな声を出さないなど、コロナ禍での影響なども考えられます。状況に応じたあいさつや、身近な友だち同士だからこそきちんとあいさつできるよう指導を続けていきます。	
	・体力向上	・体育科授業を改善・充実させる。 ・新体力テストの結果を生かし、体力の向上を図る。 ・休み時間、外で元気に遊ぶ習慣を定着させる。 ・毎日を「元気で過ごす」態度を定着させる。	・体を動かすことの楽しさを教えてほしいと思います。 ・ぜひ子どもたちにできるように努力することを教えてほしいと思います。達成が困難でも続けて努力することの大切さを教えてほしいです。 ・コロナ禍で外出もままならない時期も多く、一斉遊びなどはとても良いと思います。ぜひこれからも積極的にやって頂きたいです。 ・休み時間はよく外で遊んでいる印象です。 ・自分を客観的に評価することはとても大切です。自分から見た自分とお友達から見た自分の違いも気づくような取組があると良いと思いました。	一流のアスリートだからこそ、地道な努力の大切さを知っているはずであり、運動の楽しさを味わうきっかけづくりとともに、指導のなかで努力の大切さを伝えるような指導も依頼していく。 体力向上旬間なども利用し、休み時間も遊びなどを通して体を鍛える時間となるよう担任からも指導を続けていく。	
	・保健指導・安全教育	・学校安全計画に基づき、危険なことや事故から自分を守る力を育てる。危険なことや事故から自分を守る力を育てる。	・安全については、何度も繰り返し伝えることが大切だと思いますので、毎月安全指導して下さい感謝します。 ・春日小の児童がどうか判りませんが、自転車運転時のヘルメットなしを以前より見かけます。	コロナ禍の影響で、2年連続自転車の実施指導は中止になっている。ただし、訓練時だけに限らず、日頃より自転車運転も含め、安全指導を繰り返して行く。	
	・特別支援教育の充実	・配慮を要する児童の実態を把握し、一人一人の教育ニーズに応じた指導を行う。	・時間も人数も限られた中で、こうした指導は難しいと思いますので、ぜひ積極的に外部団体や地域を活用してほしいと思います。 ・手厚く、一人一人を見ています。 ・クラスで立ち歩く児童が発生して、何人かが関わると、騒ぎが増大してしまう状況になるようですね。特別支援の必要な児童でなくても、さらに、一人一人丁寧に対応して頂けたらと願っています。	教職員が、短時間でも情報共有できる機会を設けたり、文書で閲覧することで情報共有する仕組みをつくっています。	
	・食育の推進	・給食指導等で、よい食習慣を身に付け、食の大切さを理解させる。	・地域の産物を使ったり、季節やイベントに応じたメニューが考えられたりしており、良いと思います。	子どもたちの意見も取り入れながら、食に対する興味関心が高まるような給食づくりに栄養士や調理担当者が取り組んでくれています。安全・安心でおいしく体にもよい給食を続けていきます。	
	・オリビック・ハラルビック教育の推進	・オリビック・ハラルビック教育推進のための取組を各教科等で実施する。	・子どもたちが現地で観戦できるチャンスを失ってしまったことは大変残念でした。 ・予算も少なくなり、対応できる学年が減ってきました。	新年度からは学校2020レガシーとして、障害者理解のための交流会やアスリートによる体育指導を実施していきます。	
	確かな学力の定着と向上	・計画に基づいた指導	・「週ごとの指導計画」に指導のねらい、指導内容等を明記して、計画的に工夫した指導を行う。 ・1単位の授業時間をしっかりと確保し、授業時数を確保する。	・どの先生方も工夫した授業に取り組んで頂いているようで安心しました。 ・子どもたちのことを常に考え、先生方はよく指導されている。 ・昨年に続いてのコロナ禍ではありましたが、計画どおりに進めることができたなら良かったです。	
		・基礎的・基本的な学習内容の定着	・算数科で習熟度別学習(3～6年)、TT体制(1・2年)を行い授業の充実を図る。 ・朝学習「春日タイム」や長期休業中の「学力補完教室」などを活用して個に応じた指導の充実を図る。	・ぜひ継続して取り組んで頂きたいです。 ・昨年より先生方の自己評価が下がっているのが気になります。もつてできたことがあったなら、次年度はぜひ実行して頂きたいです。 ・コロナ感染で、授業が計画通りに進まなかったことと推察します。児童も欠席などで、理解が進まない点が多かったことでしょうか、先生方には、今まで以上に一人一人に目を向けて、取り残される児童がないようにお願いします。	昨年度に引き続き今年度も長期休業中の学力補完教室など実施することができました。来年度に向けて実施できない場合でも代替となるような個に応じた指導の充実を検討していきます。
		・探究的な学習活動の実施	・総合的な学習の時間や生活科で探究的な学習を実施する。	・とても良い学習だと思いますので、ぜひ継続して下さいと良いと思います。 ・いろいろなテーマで積極的に取り組んでいる。	
		・学習習慣の確立	・学習の基礎となる「規律ある学習習慣」(「授業中のやくそく」)を確立する。	・タブレットも活用して頂けると良いと思います。 ・授業時間は、一部の学年以外は静かにルールを守って学習している。 ・たいへんだと思いますが、今後授業規律の構築をよろしく願います。	授業などにおけるタブレットの充実に関しても、教員の研修も含め、有効に活用していけるよう進めていきます。
・研究・研修の充実		・自己申告時の授業を公開する。 ・小中一貫教育のために9年間を見通して各学年の基礎・基本の力を身に付けさせる。	・コロナ禍でもできることを実施して頂けると良いと思います。 ・難しいこととは思いますが、少しずつでも行って頂けると良いと思います。 ・コーディネーターが連携し、児童と生徒が交流するプログラムを考えて実行する。今までやってきていることをタブレット等ICTを活用して再考していきたいと考えています。	直接交流ができない状況でも、オンラインでの交流会など新しい取組を行うことができました。コーディネーターを中心に、情報交換を行い、さらなる連携を深めています。	
地域・保護者との連携	・保護者・地域の力を生かした教育活動の推進 ・学習に保護者や地域、外部の人材を活用し、学習内容の充実を図る。	・コロナ禍ではありましたが、今年度はあまりに学校が閉ざされていたように感じました。次年度は、地域、外部、保護者の人材も活用して子どもたちにより多くの経験を与えてほしいと感じています。 ・保護者との交流はコロナ禍でなければもう少しあると思いますが、現状は難しい。外部講師は積極的に活用しています。 ・社会で活躍する方々や、地域の「〇〇名人」など、児童の視野を広げる授業がどんどん組まれて、充実していると思います。図書館開放も2か月毎に「わいまおはなしの会」の3名の語り部に来て頂いて、「おはなし会」を開いています。 ・育成委員会行事が中止となり、子どもたちが自由に遊べなくなっており、この状況が早く静まることを願っています。	厳しい状況が2年間続いていますが、そのような中でも多くの保護者や地域の皆様に様々な工夫をしていただきながら、教育活動を支えていただきました。まだ先の見通しがたない状況ではありますが、今後とも継続して可能な連携に努めてまいります。		